

会 議 記 録			
会議の名称	全員協議会	場 所	全員協議会室
		担当書記	野澤 孝子
日 時	令和4年11月8日(火曜日)	開議 13時00分	閉議 13時32分
出席議員	議員22名（欠席議員:竹田議員）		
執行機関出席者	(政策企画部) 浦部長 (財政課) 山本課長、西川係長、小森係長		
事務局出席者	井上事務局長、数井次長、野澤副課長兼総務係長事務取扱、佐藤主任		
傍 聴	<input checked="" type="checkbox"/> 可・否		

会 議 の 概 要

開議 13:00

1 開議

[福井議長 開議]

<事務局長>

[事務局長 日程説明]

竹田議員から、欠席届が提出されているので報告する。

2 行政報告

○亀岡市の財政状況及び今後の見通しについて

[(政策企画部)浦部長、(財政課)山本課長 説明]

[質疑]

<三宅議員>

ふるさと納税額の今後の見通しは。

<財政課長>

ふるさと納税額については、去年は32億円で、今年も30億円を上回る見込みである。

制度が存続すればではあるが、今後も、毎年30億円程度の納税を見込んでいる。

<木曾議員>

今後も扶助費がさらに増える見込みだと思われる。扶助費の財源については、全体的な財源を充てるべきであり、ふるさと納税など不安定な財源に頼ると取り返しのつかないことになる。ふるさと納税を扶助費の財源とすることについての基本的な考え方は。

<財政課長>

扶助費については、一般財源、国庫支出金、地方交付税交付金を充てるべきものであり、ふるさと納税については、経常的な事業ではなく亀岡市独自の臨時的な事業経費に充てるべきだと考える。今後も、そういったことを心掛けながら予算編成に努める。

<木曾議員>

一部、子育て支援にふるさと納税が充てられているが、子育て支援は一時的な事業だという認識での予算編成をしているのか。

<財政課長>

現在、ふるさと納税は18億円残っており、毎年3億円使っても6年間維持できる。ふるさと納税は、貯めてから事業に充てるという使い方をすると財源が空にならない。ふるさと納税についてはいったんストックしてから、子どもファースト宣言のような亀岡市独自の事業に充てるという予算編成をしていきたい。

<藤本議員>

亀岡市の財政健全化の方向は良い方向に向かっているのか。

<財政課長>

良い方向に向かっている。

<福井議長>

以上で質疑を終わる。

13:28

[政策企画部財政課 退室]

13:29

3 その他

<福井議長>

事務局から連絡事項はあるか。

<事務局長>

この後、広報公聴会議広聴部会は南桑中学校に行っていただく。また、11月17日(木)については、タブレット研修会を開催するので出席願う。

<福井議長>

それでは、閉議する。

閉議 13:32